

参加車両・安全・環境規定

本シリーズはSDAによって、参加車両の安全面また環境面を重視した規定になっています。他の競技会とは、少々異なっています。ご自分の車がどのようになっているかを確認してください。また、判らないことは、どんどん主催ショップに質問してください。詳しくご説明します。

1. 参加車両

M1	コンパクトカークラスを対象に、自然吸気エンジンの車種限定前輪駆動方式の車両クラス。 ヴィッツ・マーチ・スイフト・スイフトスポーツ・フィット・デミオ・コルト・インプレッサのクラス。 ※平成12年アイドル規制適合車 型式=TA/CBA/DBAの車両とする。
M2	<ul style="list-style-type: none"> ■軽自動車を含む車種限定車両クラス ストーリーX4・ブーンX4・シティ・ヴィヴィオ・アルト・スターレットNAなど ■排気量区分なしの前輪駆動車両クラス ミラージュ・カローラ/スプリンター・シビック・スターレットターボ・インテグラ・セリカなどの車両 ■排気量による区分なしの後輪駆動車両専用クラス AE86・ランタボ・シルビア・180SX・MR2・RX7・RX-8など
M4	<ul style="list-style-type: none"> ■排気量による区分なしの4輪駆動クラス
EX2	<ul style="list-style-type: none"> ■軽自動車を含む車種限定車両クラス ストーリーX4・ブーンX4・シティ・ヴィヴィオ・アルト・スターレットNAなど ■排気量による区分なしの前輪駆動の車両クラス ■「②-2 EX2およびEX4クラスの参加条件」に合致したドライバーを対象とする
EX4	<ul style="list-style-type: none"> ■排気量による区分なしの4輪駆動の車両クラス ■「②-2 EX2およびEX4クラスの参加条件」に合致したドライバーを対象とする

※ターボチャージャー付きエンジンは、排気量に対して1.7倍して総排気量となります。

2. 参加車両の安全装備の規定

モータースポーツには、危険が伴います。もしもの場合に備えて、一人一人が責任を持って参加車両の安全装備の確認をしてください。

2-1 ロールケージ

競技中は、クラッシュしたり転倒したりすることもありますので、あなたの体を守るためにロールケージの装着が必要です。

- ①ロールケージはスチール製6点式以上を必ず装着すること。
- ②他車種のロールケージを途中で切断、溶接等の加工をしたロールケージは危険です。絶対にこのような加工をした物の装着は禁止。

2-2 けん引用穴あきブラケット

転倒、クラッシュの時には、いち早くレスキューが動きます。車の排除を早めるためには、どこにけん引フックがあるかわかるようにしましょう。バンパーに↓マークがあるとなお良いですね。なお、レスキュー中の車両の損傷については、保証することができません。

- 1 前後けん引フックは赤色、黄色、あるいはオレンジ色に塗装してください。ただし、ボディカラーと一緒にはいけません。
- 2 アンダーガード等を装着することによって純正けん引フックが使用できない車は、車両をけん引して、移動するのに強度のある、スチール製けん引用穴あきブラケットを前部に装着してください。

2-3 安全ベルト

シートベルトはヘルメット同様に、ドライバーの体を守るための大切な装備です。

- 1 フルハーネスタイプの4点式以上の安全ベルトを必ず装着すること。なおストラップ・構成部品等に異常があるものは使用できない。
- 2 取り付け方法は、アンカーボルトを使用する事。
- 3 2本の肩部ストラップを持ち、途中で1本になりそのまま車体へ取り付けられるベルト、いわゆる「Y字レイアウト」のタイプの使用を禁止する。

2-4 車室内

公式車両検査から競技中まで、走行中に不用意に動たり、飛んでしまうものは、すべて搭載してはいけません。

(スペアタイヤ・ドリンクホルダー・ワイドミラー・けん引ロープ・工具・スペアパーツ・カーナビ等脱着可能な不必要物)

2-4-1 床

フロアマットは取り外してください。

2-5 エンジンルーム内

エンジンルーム内の各リザーバータンクに軍手等(可燃材)でカバーをするのはいけません。オイルに引火して車両が燃えてしまうケースがあります。カバーできる材質は、耐火災素材のものに限られます。

2-5-1 バッテリー

短絡を避けるため、バッテリーの+端子は有色ビニールテープで確実に絶縁しましょう。端子カバーにもめくれ防止のために有色ビニールテープでおおってください。なお、ガムテープ、紙テープは絶対使用してはいけません。

2-5-2 エンジンオイルレベルゲージ

振動やアクシデント等でレベルゲージが抜けたりします。そんな時にオイルが吹いてしまう恐れがあります。スチールワイヤーやステンレスワイヤーなどで、抜け防止の処理をしっかりとってください。

2-6 ホイールおよびタイヤ

一般市販のダート&ラリータイヤのみ使用とします。

2-6-1 ホイールスペーサーの使用を禁止します。

ただしSC、D、車両規則に従ったチューニングを施した車輛は除く。

2-7 ボンネット

ボンネットダンパーの装着を禁止します。

3. 環境規定

うるさいマフラーで走っても良いですか？壊れた車で走って帰っても良いですか？それはいけません。

ご自宅から会場までの周りの住民の方へ不快な思いをさせないように1人1人が心がけましょう。

3-1 マフラー

①マフラーおよび排気管を変更している車両は、自宅から大会当日の慣熟走行開始前までは、消音効果のあるインナーサイレンサーの装着をしてください。

また、明らかに音量が大きいと判断された車両は、消音効果のあるインナーサイレンサーを装着して競技に参加していただきます。次回は静かなマフラーに変えてきてください。

②マフラーを変更する場合は、保安基準に適合している車検対応品とします。その取付け方法も含めて、保安基準に従ってください。（J A F 2018 年国内競技規則スピードS C車両規則およびD車両規則に従った車輛を除く）

3-2 ナンバーなし車両

ナンバーなし車両は、各会場まで必ずトラックに積載して来てください。トレッカー・レッカー車・けん引ロープ、仮ナンバー等によるご来場は絶対にしてはいけません。

3-3 転倒、クラッシュ等の車両

ナンバー付き車両でクラッシュ、転倒等により一般公道を走れない、また、走行するには危険と思われる状態の車は、キャリアカーで移動してください。

4. 統一解釈

本規定は道路運送車両の保安基準に適合し、1人でも多くの方がモータースポーツを楽しんでもらえる事を目的として作成されたものです。また、参加される方は、本規定を守ることが前提です。

なお本大会の車両検査の合否が、一般公道を走行できることを保障するものではありません。

本規定の解釈に万一疑義を生じた場合は、S D Aの解釈をもって最終とします。